組合ニュース

WWU
WAKAYAMA WORKERS' UNION

第　１５１４９　号
2017 年８月３１日（木）
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555
組　合　ＨＰ　http://nssmwu.jp/

池田組合長より第 50 期総括の挨拶を受ける！！

昨日開催した第 14 回中央委員会において、池田組合長より第 50 期総括の挨拶がありましたので、以下にその内容を掲載いたします。



ご安全に！　第 50 期の 1 年間を振り返り総括をさせて頂きます。

まずはこの 1 年という短い任期において、労働組合の様々な活動や取組みに対しまして、支部長をはじめ機関役員の皆さんを中心に、ご理解とご協力を賜った点につきまして衷心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

今任期をスタートするにあたり、第 1 回の中央委員会ならびに定期大会において、幾つかの課題について触れていますので、改めて振り返りながら総括をさせて頂きたいと思います。

1 点目は、労使共通の最優先課題であり、労働福祉の原点でもある「安全と健康」についてです。まず安全についてですが、これまでと同様に労使の垣根を払拭し、労働組合の立場で安全の確保に向けて、皆さんの協力を得ながら全力で取組みを展開して参りました。結果として、和歌山製鐵所が発足して以降 74 年目で初めて暦年の休業災害以上ゼロを達成する事が出来ましたし、今年に入ってもこの記録を継続しており、今任期という意味においては、一定の評価が出来ると認識をしています。しかしながら、依然として不休災害や軽処置災害は頻発している事から、引き続き取組みを強化していく必要があると考えます。

その一方、健康の確保については厳しい現実を叩き付けられました。今任期中に災害で亡くなられた方は無かったものの、病気で亡くなられた方は 5 名に上り、特に近年はメンタルヘルス疾患が増加している事から、労使の課題として何らかの対策を講じる必要があると考えていますし、機関役員の皆さんにおいては、日頃の会話の中で悩みを聞いてあげられる様な職場の風土づくりを心掛けて頂きます様よろしくお願いしたいと思います。

2 点目は、「第 2 高炉へのスイッチ」についてです。労働組合が果たすべき大きな役割のひとつに雇用の確保があり、和歌山製鐵所において雇用を確保するためには、世界最長稼働記録を更新中の第 5 高炉から、未だ稼働していない第 2 高炉へのスイッチが必須課題であるという事は、こ

れまでも繰り返し述べて参りました。既に、日新・呉および小倉の高炉休止が発表されている現状において、鉄源コストを削減する事が和歌山の最も大きな課題であり、第 2 高炉へのスイッチの大きな鍵となります。そのためには労使が課題を共有し、労働組合の役割として現場第一線の皆さんにやるべき事を解かり易く伝え、和歌山製鐵所における雇用の確保に結びつけていかなければなりません。この事から我々がすべき安全の確保は勿論の事、日々のトラブル防止を図りながら、安定生産の実現が極めて肝要であるという事を機関役員として肝に命じて頂くと共に、職場組合員の皆さんに伝えて頂きたいと思います。

3 点目は、「目に見える組合活動の推進」についてです。第 50 期においては出来る限り現場に足を運び、ふれあい活動を中心に現場第一線の皆さんの意見に耳を傾けながら、我々の思いや考え方についても丁寧に説明をして参りました。しかしながら、執行部 8 名体制で 3 地区に跨る 3,000 名強の全組合員と直接対話する事が、如何に困難であるかという事を思い知らされた 1 年でもありました。この反省を教訓に、より身近な存在である各支部機関役員のレベルアップを図るべく、勉強会・研修会の開催や様々な情報提供を行いながら、新たな面着方法を構築しなければならないと考えています。

4 点目は、「組織・財政の課題」についてです。前期において和歌山労組の財政健全化と、新日鐵住金労連や地域における中核組織に相応しい組織を構築すべく、「組織機構・財政検討委員会」を発足し検討を重ねた後、最終答申に基づき諸活動を展開して参りました。その結果、約 1,000 万円近くの財政削減を図り黒字化を達成することが出来た事、更に「組織機構・財政検討委員会」を常設の委員会とした事などについては一定の評価が出来るものの、組織運営という意味においては未だ道半ばの感は否めません。今後は種々の課題解決に向けて更なる改善努力を図っていく必要があります。

5 点目は、「将来を見据えた組織体制の確立」についてです。今期は「新生和歌山労組」として 3 年目を迎え、これまでと同様に様々な改革を行って参りました。特に、執行部の改革については 20 年・30 年先を見据え、将来の和歌山労組の中枢を担うべく新人 3 名を登用し、育成と運動を同時に実施して参りましたが、この事は、まだまだ緒に就いたところであり、今後も執行部役員として志をひとつに、歯を食いしばって頑張って頂きたいと思いますし、機関役員の皆様におかれましても、是非ご理解を賜りたいと思います。

この様に、第 51 期につきましても多くの課題を抱えての任期となりますが、和歌山労組の将来に向けた大きな夢を実現すべく、自信を持って山本体制に大望を託しますので、信念と確信と自信を持って邁進して頂きたいと思いますし、機関役員の皆様におかれましても、力強いご支援をよろしくお願い致します。

結びになりますが、今任期をもってご勇退される役員の皆様におかれましては、これまでのご協力に対しまして衷心より御礼を申し上げますと共に、引き続き山本体制を盛り上げるべく、お支えを頂きます様お願いを申し上げまして、第 50 期・1 年間を振り返っての総括とさせて頂きます。

1 年間、本当にありがとうございました。ご安全に！

第 14 回中央委員会報告

【日時】8 月 30 日(水)　8 時 30 分～9 時 40 分
【出欠】出席 89 名、欠席 4 名、出席率 96%
【議長】平野氏

Ⅰ．報告事項

1. 上部団体会議報告
   ・第 13 回中央執行委員会報告
   ・中央労使協議報告
2. 2017 年度 4/四半期決算報告並びに会計査報告
3. 箇所労使協議報告

【臨時経営委員会・労使協議会】
   ・クレーン整備・元方工事管理機能の直営化について【修正版】
   ・クレーン整備・元方工事管理機能の直営化について（その 2）

【経営委員会】
   ・2017 年 9 月度生産計画について

4. ＮＳＧＲカレンダー作成に伴う「安全ポスターおよび安全標語」審査結果について
5. 和歌山県労働者共済生活協同組合「第 60 回通常総代会」および全労済和歌山県本部「第 8 回代表者会議」報告
6. 政策実現対策委員会報告
   ・「堺市長選挙」における立候補予定者の推薦について
7. 「和歌山労組第 51 期運動方針(案)」および「2018 年度会計予算（案)」に関する職場討議開催について
8. 9 月度日程について

Ⅱ．審議事項

1. 2017 年度 2／四期合理化案件（その 2）への対処方針に関する件（案）
2. 和歌山労組第 50 期組織機構・財政検討委員会の最終答申に関する件（案）
3. 新日鐵住金和歌山労働組合「第 5 回定期大会」告知に関する件（案）

報告事項 8 件、異議なく承認
審議事項 3 件、満場一致で可決決定

第５０期中央委員会議長の退任にあたり、議長団から挨拶を受ける



◆左から平野議長、藤本議長、辻議長、川島議長

今期１年間、議長の大役お疲れ様でした！！

☆中央委員会の議事内容の一部を紹介します☆

◆ＮＳＧＲカレンダー作成に伴う「安全ポスター及び安全標語」審査結果について

1. 安全ポスター

☆最優秀作品

小径製品支部
大塚（おおつか）　卓司（たくじ）氏
長男：新（あらた）さん（小学 6 年）

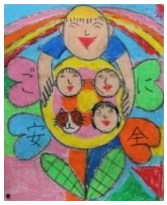


☆優 秀 作 品

鋼管技術支部
片山（かたやま）　陽平（ようへい）氏



工程技術支部
宮本（みやもと）　聖司（せいじ）氏
長男：悠成（ゆうせい）さん（5 歳）



2. 安全標語

☆最優秀作品

製鉄保全支部：大石（おおいし）　圭吾（けいご）氏の作品
『ルールを守って、わが身を守る！！
みんなで築こうゼロ災職場』

☆優秀作品

冷間製管支部：田中（たなか）　優希（ゆうき）氏の作品
『やっている、見ているつもりが事故の元、
目と指合わせて、よいか、よし！』

小径製品支部：案志（あんし）　朋広（ともひろ）氏の作品
『忘れるな　ルールがあること　守ることを抜くな　ゆるむ心にひそむ事故』

◆堺市長選挙における立候補予定者の推薦について

1. 立候補予定者
（1）氏　　名：竹山　修身（たけやま　おさみ）
（2）生年月日：1950 年 5 月 30 日生れ(67 歳)
現堺市長（2 期目）

堺市在住の組合員の生活向上につながると判断し、推薦したので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

◆「和歌山労組第 51 期運動方針（案）」および「2018 年度会計予算（案）」に関する職場討議開催について

1. 開催期間

2017 年 9 月 5 日(火)～9 月 15 日（金）

(1)和歌山地区

日	時	場　所	支　部	対応者
9/ 5（火）	16：45	製鋼事務所避難場所	製鋼保全	山本
9/ 6（水）	17：15	ＰＲセンター2Ｆ	設備管理	岡﨑
9/ 7（木）	15：20	製鋼事務所避難場所	製　鋼	岡﨑
	16：45	スカイホール	動　力	岡﨑
9 /8（金）	15：15	Ｎｏ．３・４会議室	コークス	福井
	16：45			
9/11（月）	15：15	薄板大会議室	薄　板	中濱
	17：15	組合会館大会議室	総　務	柳谷
9/12（火）	7：20	中径製管大会議室	中径製管	中濱
9/13（水）	15：20	Ｎｏ.２・３会議室	鋼　片	谷路
	15：50	東事務所大会議室	中径製品	歌野
	17：15	組合会館大会議室	鋼管技術	谷路
	17：15	圧延保全大会議室	圧延保全	稲垣
9/14（木）	16：45	アメニティ会議室	製銑保全	稲垣
	17：10	311 号会議室	工程技術	岡﨑
9/15（金）	15：15	201 会議室	ステンレス	中濱
	15：30	アメニティ会議室	製銑原料 製　銑	福井

(2)堺地区

日	時	場　所	対　象	対応者
9/ 6（水）	13：00	Ａ・Ｂ会議室	大　形	谷路
	15：00			
9/12（火）	12：20	Ａ・Ｂ会議室	設備総務	山本

(3)海南地区

日	時	場　所	対　象	対応者
9/11（月）	16：15	海南第２食堂	小径製品 冷間製管	山本
9/12（火）	16：05	海南第２食堂	小径製管	歌野
	17：00	設備センター会議室	海南保全	歌野

第 51 期の運動方針(案)および 2018 年度会計予算(案)を策定しましたので、各支部から意見・要望を集約し、まずは、前半年度の活動につなげたく、各支部のご理解とご協力を宜しくお願いします。

◆和歌山労組第 50 期組織機構・財政検討委員会の最終答申に関する件（案）

・和歌山労組は長年にわたる組合財政の赤字解消と、3,000 名組合に相応しい組織を構築すべく、前期の「組織機構・財政検討委員会」の最終答申に基づき諸活動を展開してきた。
・また、今期の組織全般にわたる活動状況ならびに財政状況の確認・検証や課題の抽出および具体策の策定を検討した。
・更には、各支部においても今期を振り返り活動全般に亘る確認および新たな課題の抽出等を行ってきたことから、来期の活動に繋げるべく最終答申とする。

（詳細につきましては中央委員会の議事をご覧ください）

第 50 期の組織・財政については、前期の最終答申で示された各種施策を実行してきた結果、財政面においては黒字化を達成することができました。

一方で組織運営において、新たな課題が浮き彫りとなったことはこれまで述べたとおりであり、それらの課題の解決・改善については、今期より常設化した「組織機構・財政検討委員会」のなかで来期においても引き続き検証し、将来にわたる和歌山労組の磐石な組織と健全な財政基盤を構築していくことと致します。

◆新日鐵住金和歌山労働組合「第 5 回定期大会」告知に関する件（案）

1. 開催日時：2017 年 9 月 30 日(土)9:00～12:00
2. 開催場所：社員クラブ　多目的ホール
3. 大会準備：大会準備委員会は、議事規程第 7 条により執行委員会があたり、本中央委員会の確認を経て発足する。
4. 議　　案：大会準備委員会が提出する議案は、議事規程第 8 条により、9 月 5 日(火)に開催予定の第 1 回中央委員会に提出する。
5. 議案提出：支部または組合員がこの大会に議案を提出しようとするときは、議事規程第 9 条により、9 月 11 日（月）までに文書をもって提出すること。

本日で今期最後の組合ニュースの発行となります。来期は更に組合ニュースの内容充実を図っていきますので、引き続きのご愛読をよろしくお願いします！